

令和5年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

概要

日時	令和6年3月4日（月）13時30分から14時45分まで				
場所	大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）				
案件	1件				
審査委員	京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授	河瀬 元明（会長）			
（敬称略）	エタニティラボ 代表 中小企業診断士	岡崎 永実子			
	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授	藤原 直樹			
	武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師	山下 紗矢佳			

【内容審査（7項目）】

- ・審査項目
 - 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
 - 2 立地する事業所の機能・役割
 - 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績
- ・加点項目
 - 今後に向けた取り組み

【1】ファインフーズ株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - その他の調味料製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積
大阪府堺市堺区匠町／6,902.58 m²／3,465.49 m²
 - 補助対象経費／補助金額
約16.90億円／30,000,000円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**24.75点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・技術力があり、工場稼働率の見通しもある程度できている。人材確保がやや懸念されるものの、製品に競争優位を有しており、計画の実現性は高いと想定される。スマイルケア食品については、より具体的な計画を作成していくことが望ましい。
- ・新工場の設立により、生産能力の拡大と新規事業に取り組むものである。底堅いニーズの粉末調味料の安定供給のほか、高齢化社会に向けた介護食品といった新しい価値の商品製造、加えてBCPの観点もある。市場近接型の立地で既存の商品分野の拡大は見込めるが、スマイルケア食品への展開については不確実性が高く思われた。OEMを行いつつ、自らのブランドによる商品流通の割合を増やしていくような経営も期待したい。
- ・今後の事業展開の戦略に伴う投資であり、理にかなっている。研究開発に注力しておられ、付加価値の高い製品づくりをされている。今後の生産拡大、新製品の拡大に期待したい。事業拡大に伴った、人材獲得ができるかが肝になる。
- ・大手食品メーカーとの取引が長年続いており、価格競争だけでなく品質の強みがあり、堅実な業績を上げている。今回の増設計画は、外注している工程を内製化するものであり、堅実な増産計画となっている。予定している新商品への取り組みを真剣に進めてほしい。